



鷹野雅生 議会速報

GASHIN

Vol.4 2012.9

〒614-8011 京都府八幡市八幡垣内山 47
Tel 075-981-2496 / fax 075-981-5896

はじめに

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 災害について
- 3 災害について 答弁
- 4 災害について 再質問と答弁
- 5 八幡市の観光施策
- 5 観光施策質問と答弁
- 5 観光施策 再質問
- 5 観光施策 答弁

皆さんこんにちは。
八幡みどりの市民の鷹野 雅生です。

本日4番目の質問となります。
皆様方にはお疲れが出る頃かと思いますが、しばらくの間お付き合いのほど
よろしくお願い致します。

先に質問されました、同僚議員との重複もありますが、ご答弁よろしくお願い致します。

それでは、通告に従い質問をさせていただきます。

"GASHINとは"

GASHINの心は鷹野雅生の雅を使い、私のいち早いお知らせの「信」であり「真」を述べ、私の「心」を語らせていただきたいと願っております。



未曾有の悲劇をもたらした東日本大震災が発生してから、一年半が過ぎました。

何よりも大切な命が多く失われました。また、行方不明の方も未だおられます。被災者の悲しみ、切なさは計り知れないものです。しかし直接被害がなかった私たちのまちでは記憶も薄れていくのが現状です。

災害の教訓を忘れてはならない。次の災害にそなえなければならない。

自然の脅威による被害を最小限に留めるのは行政や我々議員の責務だと、そういう思いで平成 24 年第一回定例会では質問をさせていただきました。

堀口市長も市長選挙の公約として安全で安心して安定した暮らしを市民に届けると述べられ平成 24 年第二回定例会で提案されました肉づけ予算でもそうした事業に随分と予算を配分していただきました。

これから安全で安心なまちづくりがさらに進んで行くと喜んでいて矢先でしたが、先月13日深夜から14日にかけてかつて経験したことがないような集中豪雨が山城中部地域を襲いました。

幸いにも尊い命が失われるということはありませんでしたが床上、床下浸水、道路の冠水、土砂崩れなど市民に不安と恐怖の爪あとを残しました。

また国の史跡の指定を受けたばかりの石清水八幡宮の参道では、17カ所もの土砂崩れが発生しました。私も小さいころから遊んでいましたが、こんな事になったのは初めてです。姿を見てびっくりしました。

そのため私の住まいする3区だけでも八幡市駅前周辺での大量の流木・土砂災害・大谷谷川の氾濫による道路冠水、平谷地域の道路冠水、裏参道の土砂崩れによる、さざなみ公園前の土砂災害などが発生しました。

限られた地域だけでもこのような状況であったため、市内全域では計り知れない被害がでていいるのではと懸念いたしました。

8月13日から14日にかけての通算雨量が289mm、14日早朝5時から6時の1時間の雨量が71mmとの報告を受けましたが、こういった集中豪雨は、まれに発生するものと思っいてはもう駄目な気候になってきていると思います。

現に同じ週の17日、18日も大雨をもたらし、各地で雷による被害や浸水による被害が発生しています。

大地震と同様、集中豪雨による災害対策が頻繁の課題であります。

このような背景のもと、質問をさせていただきます。

【質問】

・13日の集中豪雨時、何時に何人体制で設置されたのか？

⇒警戒本部が設置された基準(体制)は？

・災害警戒本部から災害対策本部に切り替えたのは時間について

・危機管理監・副危機管理監は常に一緒に出務しているのか？

⇒長丁場になると考えた体制をとるべきでは？

・京阪電車の不通や土砂災害による通行止めなど多く発生しましたが、

災害対応しなければならない職員の方々の出務状況は？

・人出が最も必要な時に職員が集まらないという状況だけは避けていただければいけません。

法律を運用して本市在住者もしくは本市在住することを条件とした職員採用はできないのか？

・市民との協働の為、集中豪雨時における自治会、消防団、自主防災組織との連携について。

・被害を受けた農作物・農業関連設備の状況及び対策について一歩進んだ具体的な支援策をお聞かせ下さい。

*** 13日の集中豪雨時、何時に何人体制で設置されたかについて** 総務部 総務課

⇒大雨洪水警報が発令された同日22時16分頃に設置し、事務局を含む8人体制での対応でしたが、順次招集を行い15人で災害警戒にあたりました。設置基準は気象警報発令とともに事務局及び1号配備の職員11人が自主参集する体制となっております。

*** 災害警戒本部から災害対策本部に切り替えたのは何時頃？** 総務部 総務課

⇒14日8時でございます。

*** 危機管理監・副危機管理監は常に一緒に出務しているのか？（長丁場になると考えた体制は？）**

総務部 総務課

⇒現状は同時出務しております。

長期間に及ぶ場合は全ての職員を含め交代勤務とする事も検討したいと思います。

*** 京阪電車の不通や土砂災害による通行止めなど多く発生しましたが、**

災害対応しなければならない職員の方々の出務状況は？

総務部 総務課

⇒京阪が不通になり一部出勤出来ない職員もおりましたが14日は出勤職員から各部3名を災害対策本部へ動員し災害対応を実施いたしております。

*** 人出が最も必要な時に職員が集まらないという状況だけは避けていただければいいですね。**

法律を運用して本市在住者もしくは本市在住することを条件とした職員採用はできないのか？

総務部 人事課

⇒平成11年に当時の労働省が出した職業安定法に基づく指針や最近の京都労働局の通知では本籍地や出生地など応募者本人の持つ適正や能力以外のことを採用基準に定めないように公正な採用選考を行うよう謳われております。このことから居住地の限定や市内居住を条件にした職員募集は好ましくないと考えております。

*** 市民との協働の為、集中豪雨時における自治会、消防団、自主防災組織との連携について。**

総務部 総務課

⇒水防非常事態時は市及び消防本部と連携し災害対応にあたっていただくことになっております。また災害時のみならず日頃から地域を中心とし自主的に活動をされてる自治会や自主防災組織の皆様が災害発生時に避難誘導や避難所運営などの活動をいただくことは欠かせないものでございますことから連携を図ってまいりたいと考えております。

*** 被害を受けた農作物・農業関連設備の状況及び対策についての具体的な支援策について。**

環境経済部 農業振興課

⇒被害につきましては茄子、キュウリ、小松菜、ネギなど649アールを確認しております。

対策につきましては被災野菜畑への追加施肥や追加防除及び小松菜・ネギの播き直しに多額の経費が必要になることから生産回復への支援について京都府に急遽要望を行ったところでございます。農地や排水路の被害につきましては地元農家実行組合からの連絡により現地確認し把握したものでございます。

対策につきましては被害拡大防止の為ただちに植生土のうによる応急工事を実施致しました。（8月23日完了）

***災害対策本部について。**

⇒課題や対策についてはよくわかりました。

これからも安心して暮らせる安全なまちづくりを進めていただきますようによろしく
お願い致します。

***本市在住者もしくは本市在住することを条件とした事について。**

⇒職員募集の段階では好ましくはないことはわかりました。

私は八幡市在住の職員が多い方が災害時の体制が整いやすいと考えます。

最終的合格者の決定時に八幡在住について考慮できないでしょうか。

***集中豪雨時における自治会、消防団、自主防災組織との連携について。**

⇒消防団との連携はよくわかりました。

災害時の連携には災害の規模が大きければおおきいほど地域力が必要です。普段か
ら意思疎通が図れるようによろしくお願い致します。

***集中豪雨により被害を受けた農作物、農業関連設備の対策について。**

⇒京都市に緊急要望していただいた事はありがたいと思います。

今後は若者の農業離れということもあって担い手育成がこれからの課題であると認
識しています。担い手育成の観点からも支援を検討してもらえるように要望します

答弁

++ 本市在住者もしくは本市在住することを条件とした事について。 ++

⇒平成11年に当時の労働省が出した職業安定法に基づく指針や最近の京都労働局の通
知では本籍地や出生地など応募者本人の持つ適正や能力以外のことを採用基準に定め
ないようにし、就職の機会均等を阻害することなく公正な採用選考を行うよう謳われており
ます。

このことから居住地の限定や市内居住を条件にした職員募集は好ましくないと考えてお
ります。

観光施策

これまで幾度となく観光施策についての質問をさせていただきましたがまだ緒についたばかりのようで、ビジョンというものが明らかになっていないように思われます。

八幡市には今年の1月に国の史跡に指定されました石清水八幡宮を始め、松花堂・流れ橋・正法寺、善法律寺など数々の文化遺産があります。

また、宇治川、木津川、桂川が合流して淀川となる三川合流域、日本最長級の木橋「流れ橋」男山ケーブルが走る溪谷など、自然にも恵まれています。

さらには日本三大勅祭「動く古典」と称される石清水祭り、エジソンが使用した竹の産地などまだまだ八幡市に人が集まる要素はいっぱいあると思います。

こういった財産をいかに利用して、八幡市に観光客を呼び寄せまちの賑わいを創出していくかが、市に課せられた喫緊の課題だと思っています。

石清水八幡宮の門前町として、人を呼び寄せる努力をしなくても人が集まってくるといった時代ではもうありません。

観光行政を中心とし、商工会の方々など共に人を呼びよせる。そんな努力をしなければならぬと思っています。それはまさに市民との協働によるまちの活性化だと思っています。

一度来られた方が再び訪れたい、また、「一度行ってみれば」といった口コミが広がるそんな街にしたいと思っています。

7月12日から駅前の観光案内所が仮オープンしました。

駅前にふさわしい観光案内所ができたと思います。秋に全面オープンし展示スペースも出来ます。観光案内所については単なる道案内所ではなく、八幡の夢を語り、見たくなる八幡、来たくなる八幡の情報の発信の場として機能し運営していただかなくてはなりません。

観光客の誰もが利用しやすく、それぞれのニーズに対応でき、情報発信も可能な施設にしていきたいと考えています。

現在、本市への観光客は170万人ということでお隣の宇治市に来る観光客が500万人という事を考えれば、観光資源からして、まだまだ伸びる余地があると確認しております。

そこでお伺いします。

観光施策 質問と答弁

【質問】

- ・国の史跡指定を受け、駅前観光案内所・展示棟の完成が間近な今、情報発信や展示棟の展示物についてどのような取り組みをされようとしてますか？
- ・観光案内所では一人の女性が受付や事務をされています。今後観光客を増加させるに当たり企画担当やPRなどの職員体制が必要だと考えますがどのようにお考えですか？
- ・八幡市駅前に観光バスの乗降スペースが必要だと考えます。八幡の特産物やみやげ物が買えるような場所の提供など駅前の再開発を検討されてはいかがでしょうか？
- ・新しい情報発信としてSNSやスマートフォンを活用して観光情報を発信していくのが当たり前になっていくと考えます。このような取り組みについてどのようにお考えでしょうか？

答弁

- * 情報発信や展示棟の展示物についてどのような取り組みについて。環境経済部商工観光課
⇒展示棟オープン当初は市の物産など観光PRになる商品や写真などの展示を予定しております。定期的に展示物の入れ替えを行う中で観光に限定せず八幡市をPRできる商品の展示などミニギャラリーとしての活用を考えております。
情報の発信につきましては観光ガイドマップをはじめ数々の観光関連パンフの配布や今年度中にリニューアルされる観光協会のホームページを活用し積極的に支援を行います。
- * 企画担当やPRなどの職員体制について。環境経済部商工観光課
⇒現在局長の他、毎日1名の職員が勤務しております。
観光協会では法人化に向けた取り組みをはじめ観光客を増やすための企画など新たな取り組みを検討されてると伺っております。当面は現行の体制でお願い致しますが、観光協会のお取り組みの状況を踏まえ判断してまいりたいと考えております。
- * 駅前の再開発について。環境経済部商工観光課
⇒ご質問にありますように駅前での観光バスの乗降スペース確保は利便性があがり観光面からは必要であると考えておりますが現状ではこれまでどおり頓宮の駐車場での乗降をお願いしたく考えております。
- * スマートフォンの活用について。環境経済部商工観光課
⇒より多くの観光客にお越しいただき、本市でお楽しみいただくためにもスマートフォンを活用した観光情報の発信は有効な手段のひとつであると考えており、観光協会と連携しながら導入に向けた取り組みを進めてまいります。

楽しく健康づくりのマップ
歴史に触れながら楽しく散策
交流の場づくり

観光施策 再質問

*観光案内所の情報発信について。

⇒答弁では観光協会のホームページをリニューアルされるといわれましたが、どのような内容を計画されているのでしょうか・

わかる範囲で教えて下さい。

*観光案内所の職員体制について。

⇒本市への観光客は170万人という事で観光資源からしてまだまだ伸びる余地があると確信しております。

先行投資をして仕掛けを作って人を呼び込むのか、これから人が増えて現場が追いつかなくなってから人を入れるのか、私は先行投資をして本市の観光を充実すべきであると思います。

答弁では観光協会です土産品の販売など検討されてるとの事でした。

観光客の案内、土産の販売、電話の対応など一人の職員での対応は難しいと考えます。お考えをお聞かせ下さい。

*八幡市駅前の観光バスの乗降スペースについて。

⇒まずは出来ることから地道に一步一步進め観光の活性化が再開につなげていくような具体策を展開していただきたいと願っています。

スマートフォンの活用については前向きな答弁ありがとうございました。

観光協会のホームページもリニューアルされます。スマートフォンも府導入されます。2つのツールを活用しより多くの情報を発信していただきますようお願い致します。

提案

観光客を呼び込む為、観光案内所で旅行業の資格をとり自らツアーを企画して呼び込んでみてはいかがでしょうかと考えます。地元で詳しい方が自らの街を紹介する「八幡まち歩きツアー」「農業体験ツアー」「桜の背割堤と三川合流公園を訪ねるツアー」「流れ橋でチャンバラをするツアー」など体験、交流を主とするものです。現在各地で「ニューツーリズム」と言われるこのような動きが出てきており、自らが企画、運営を行っていくものです。

ぜひ、市として八幡市観光協会のバックアップをいただき、八幡ならではの「ニューツーリズム」をつくりだすことを提案し要望と致します。

*観光について。

++ 情報発信 ++

⇒観光ガイドマップを初め、数々の観光関連パンフレットの配布や今年度中にリニューアルされる観光協会のホームページを活用して積極的な観光情報が発信できるよう支援を行います。

また、スマートフォンを活用した観光情報の発信を有効な手段の一つと考え、今後とも観光協会と連携して導入に向けた取りくみを進めます。

++ 展示棟の展示物 ++

⇒市の物産など観光PRになるよう商品や写真の展示を予定しております。

++ 観光協会ホームページのリニューアル内容 ++

⇒現在のホームページは何回もスクロールしないと全てが見れない構成になっていることから、トップ画面を見やすくし観光情報や会員情報などが見やすい豊富な情報のホームページにしていきます。

++ 職員体制について今後の取り組み ++

⇒現在局長以外に毎日一名ずつ交代勤務で2名の職員を雇用していますが、繁忙期は交代勤務ではなく2名とも出勤して対応しています。